

生物多様性緑化ガイド

平成 28 年 (2016 年) 1 月

港 区

生物多様性緑化ガイド

－ はじめに －

港区は、武蔵野台地の東端に位置し、台地と低地、その境の斜面地や東京湾に面した埋立地など、変化に富んだ地形を持ち、赤坂御用地や自然教育園など、かつての大名屋敷の跡地を中心に地域ゆかりの自然が残されており、開発に伴う新たな緑地も増え、都心部にあって緑の豊かなまちとなっています。また、区には、約 24 万人が居住する一方で、昼間人口は 90 万人近くになる産業の中核地でもあります。

港区では、平成 26 年、港区における生物多様性の保全と持続可能な利用を、様々な主体との協働により総合的に推進する「港区生物多様性地域戦略」を策定し、この戦略の目標の一つである「自然や生きものと共存できるまちづくりが進んでいる」を実現するため、緑化計画書制度を活用して公共・民間施設の建設時の誘導を行うための指針として、このたび「生物多様性緑化ガイド」を策定しました。

「生物多様性緑化ガイド」は、区民や事業者の皆さんと区が一体となって生物多様性緑化への取組を進めることにより、「環境共生都市・港区のイメージ」（次ページ参照）のように港区全体で多様性のある豊かで快適な都市の自然生態系を構築することを目的としています。

この計画を着実に推進するには、区民や事業者の皆さんと区が一体となって、生物多様性を取り入れた緑化の取組を進める必要があります。今後とも、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

～ 想像してみましょう ～
環境共生都市・港区のイメージ

庁舎や学校等の公共施設は花や緑で彩られ、チョウやトンボなどの身近な昆虫や、メジロ、シジュウカラも蜜や実を求めて訪れるようになっていきます。小学校や中学校の舗装された校庭が緑の芝生に生まれかわり、雨水は校庭から台地にしみ込んでいきます。

大きく広い公園が増え、豊かな緑の中で子どもたちがチョウを追いかけたり、シロツメクサの花で首飾りを編んだり、草木遊びや自然遊びを楽しんでいます。有栖川宮記念公園の池は、周辺の雨水浸透施設の整備で湧水量が増え、水質も良くなりました。シラサギやゴイサギ、カルガモが羽を休め、えさをついばんでいます。園内では、コゲラの木の幹を突つくドラミングが響いています。

街路樹は適切な管理で立派に成長して、歩道に木陰を提供し、緑の回廊として緑地と緑地を結んでいます。幹や枝にはセミや野鳥の姿が見られます。チョウが飛び交う街路樹の植え柵では、地元の小学生や商店街、住民、沿道の企業が協働して季節の花の水やりや雑草取りをしています。

一方、民間開発の現場でもさまざまな土壌微生物が生息する栄養分に富んだ表土は守られ、既存樹木・樹林も健全に保全されて区民に親しまれています。さらに敷地内には新たな緑が植栽され、保存された樹木と一体となって環境の質の改善に役立っています。屋上等の人工地盤は公園として整備されビルの魅力向上に貢献しています。開発前より量・質

ともに格段に向上してできた港区の新たな緑の拠点は、都市のオアシスとして、住み、働き、訪れる人々に親しまれています。

個人住宅や事務所ビルでも、道路に面した小さなスペースや屋上、壁面を利用した緑化がなされ、道行く人々の心をなごませています。



古川流域では、下水道の再構築や雨水貯留管の整備等により都市型水害対策が行われ、また、台地部での自然の水循環系が順調に回復した結果、かつての水量が復活して、海から回遊魚が溯上するほどに自然が再生されました。運河では、水辺の散歩道が整備されて緑と水のネットワークが形成され、水中では稚魚が群れをなして泳ぎ、干潮時にはカニやエビ、貝も見られます。水面には水鳥も集まっています。

台地部の社寺や旧大名庭園にあった池は、湧水量が増え小さな魚やエビも生きています。池の周辺ではトンボやカエルも見られます。井戸も復活して災害時の生活用水を提供できるまでになっています。

高層ビルのまち並みの上空では、時折、都市の生態系の頂点に立つ猛禽(もうきん)類の仲間のチョウゲンボウが旋回して獲物を狙っています。また、古川の護岸から突き出た木の枝では、カワセミの雄が捕らえた小魚を雌にプレゼントしています。

せい たい けい 生態系ピラミッド



孫の手を引いたお年寄りや子どもたちが、楽しそうにおしゃべりをしながらまちを歩いています。

「港区 緑と水に関する基本方針」より

目 次

1 生物多様性緑化ガイドの概要

- (1) 生物多様性緑化ガイドの位置づけ 2
- (2) 生物多様性緑化ガイドのねらい 3
- (3) 生物多様性緑化ガイドの適用対象 3

2 エコロジカルネットワーク

- (1) エコロジカルネットワークとは 5
- (2) エコロジカルネットワークの構成要素 6
- (3) 港区エコロジカルネットワーク将来像（2050年） 8

3 生物多様性を取り入れた緑化計画の流れ

- (1) 従来の緑化計画の流れと生物多様性緑化 10
- (2) 生物多様性緑化計画の流れ 11

4 生物多様性緑化チェックリスト

- (1) 記入の仕方 13

5 生物多様性緑化計画平面図

- (1) 生物多様性緑化計画平面図の描き方 17

6 生物多様性を取り入れた緑化計画を立案する

- (1) 建築計画地周辺の緑の状況を見る 21
- (2) 生物多様性緑化で誘致する「生きもの」の目標設定を行う 24
- (3) 取り入れる生物多様性緑化手法の検討 27

生物多様性緑化手法

- 手法 1 チョウを呼び 28
- 手法 2 野鳥を楽しむ 30
- 手法 3 屋上・人工地盤・ベランダに生きものを呼び 32
- 手法 4 草はらで生きものを呼び 34
- 手法 5 水辺の生きものを呼び 36
- 手法 6 植物で季節の変化を感じる 38
- 手法 7 土地の植物をつかう 40
- 手法 8 古くからの緑を活かす 42

手法 9	緑の拠点を街路樹でつなげる	44
------	---------------	----

コラム 港区を象徴する水辺 古川と運河

(4)	外来種（植栽）の扱いについて	48
(5)	生物多様性緑化の維持管理	49

7 巻末資料

(1)	港区の緑被等の現況	51
(2)	目標種一覧（参考）	56
(3)	隣接区のエコロジカルネットワーク図	63
(4)	エコロジカルネットワーク形成（2050年）に向けての方針と課題の整理	70
(5)	公共施設・民間施設の生物多様性緑化参考事例	73
(6)	生きものごよみの例	78
(7)	港区で確認されている外来種（植物）	79
(8)	支援制度	83
(9)	用語集	84

